送料を分けて比べる

同じ商品・型番・色・サイズ・個数で比較します。税込で記入し、未確認は「未確認」と書きます。空欄を0円として計算しないでください。

商品・型番・色・サイズ・個数：

届け先の地域（詳細住所は不要）・配送方法・確認日：

確認する項目	候補A	候補B
店名・販売ページ		
商品代金（税込・上記個数分）		
送料		
送料の適用条件		
その他の手数料		
今回適用する値引き		
値引きの条件・適用先		
今回払う合計		
注文前の画面の合計		
配送日・返品など未確認事項		

手数料・値引きがない場合も、確認してから「なし」と記入。条件が分からない間は、合計も未確認のままにします。

計算と追加購入を確かめる

商品代金 + 送料 + その他の手数料
− 今回適用する値引き = 今回払う合計

値引き後の商品価格を書いた場合、同じ値引きをもう一度引きません。ポイント利用分と将来付与される予定分も分けます。将来のポイントを今回の支払額から引かず、式だけで処理できない表示は注文前の画面で確認します。

送料無料のために追加する場合

追加前の商品代金・送料・支払合計：

追加する商品と、必要な理由：

追加商品代金：

追加後の送料・手数料・値引き：

追加後の支払合計：

追加前との差（増える / 減る / 未確認）：

注文前に、型番・個数・配送条件・値引き・画面の支払合計を照合します。差額だけで購入先を決める用紙ではありません。

保存や共有の前に、不要な個人情報がないか確認してください。
制作：LUMERA DIGITAL。AIを構成・文章整理の補助に使用しています。

元の記事：送料を別の行にする買い物メモ

https://note.com/lumeradigital/n/na264ec4d0f7d

架空の4つの記入例

金額・商品・店名・条件はすべて架空です。購入体験や特定店舗の推奨、実際の決済画面の再現ではありません。

1 商品価格と支払合計が逆転する

同じポーチ1個、税込、同じ届け先・配送方法。手数料と値引きなし。
A：商品900円 + 送料300円 = 1,200円
B：商品1,100円 + 送料0円 = 1,100円
商品価格はAが200円低く、支払合計はBが100円低い。配送日や返品条件は別に確認します。

2 送料無料のために追加する

Aでポーチだけ：900円 + 送料300円 = 1,200円。
商品代金1,500円以上で送料無料という条件で、600円の商品を追加すると、900円 + 600円 + 送料0円 = 1,500円。

支払額は300円増えます。送料が消えたことだけを節約額にせず、追加商品が必要かも残します。

3 送料が未確認

A：商品900円、送料未確認、合計未確認。
B：商品1,100円、送料0円、合計1,100円。
どちらの支払額が小さいかは、まだ決められません。Aの届け先・個数・配送方法に適用される送料を確認します。

4 値引きを二度引かない

定価1,000円に100円引きが適用され、商品欄が900円になった場合。商品代金へ900円と転記したら、同じ100円をもう一度引きません。送料300円、他の手数料なしなら900円 + 300円 = 1,200円。別の値引きは、対象と適用済みかを確認します。